

東松島復興推進員だより(第6号)

～地を往きて走らず～

皆さんのお住まいの地域や、生まれ育った地域にも伝統文化やお祭りがあるか
と思います。

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県東松島市でも地区にそれぞれの伝統
文化が残っています。しかし、大きな津波は全てを押し流してしまい伝統文化
も存続の危機に立たされています。

一方で、震災を契機に新たな街づくりへの新しい取組も動きだしています。復
興まちづくりはこれまでの伝統と新しい社会とを融合させてどのような街にし
ていくかのプロセスになります。

新年にかけて東松島市大曲浜では伝統芸能である「大曲浜獅子舞」が復活しま
した。保存会の方々を中心に伝統文化を消さないために頑張ってきました。
獅子舞は大曲浜の方々が多く住む仮設住宅などを回り、みなさんの健康を祈り
ました。

また、奥松島に位置する宮戸島では、子供たちが岩屋で共同生活を送る正月行
事「えんずのわり」が始まりました。この行事は 200 年以上続く伝統行事で国
の無形民俗文化財にも指定されています。

「えんずのわり」は子供たちが 6 日間岩屋に籠もって共同生活を行い、家々を
訪問し無病息災や一年の方策を祈願します。

小中学生が伝承する行事ですが、震災で転居した子供が居て対象の生徒が 3 名
となってしまったり、施設や道具も被災で失って開催が危ぶまれもしましたが、
子供達や親そして地区の協力もあり開催が決まりました。そして、彼らが立派
に伝統文化を引き継ぎました。



えんずのわりを継承する子供たち



えんずのわり舞台の五十鈴神社

東松島市は正月行事を見ただけでもこれだけの伝統文化を有しています。
また、日本で最初の近代港を目指した野蒜築港跡や縄文人の生活跡を伝える縄
文村などといった歴史資料を有しています。

これら地域の宝をどのように復興まちづくりに生かしていくのか、また、自分
達の持つ地域の宝の再発見なども大切です。

一方で、政府は「新成長戦略」において国家戦略プロジェクトを策定し「環境
未来都市」構想を打ち出しています。東松島市はこの「環境未来都市」構想に
新しい街づくりを提案し、全国 11 都市の一つとして昨年 12 月に選定されま
した。復興まちづくり計画の中でもリーディングプロジェクトとして位置づけ
られています。

現在、東松島市では集団移転・復興まちづくり計画等に係る 2 回目の住民説明
会が開催されています。復興まちづくり推進員はこの住民説明会に参加をし、
それぞれの地区の皆さんが抱える問題や新しいまちづくりへの考え方や要望を
把握に努めています。

復興まちづくり推進員は宮戸島や野蒜地区を中心に活動していますが、新しい
街づくりについて、住民の皆さんが集まって議論できる場づくりや、地域の良
さを再発見するための活動、生業の再建への支援に取り組んでいます。
推進員の活動により、野蒜地区においては津波により流されてしまった地区セ
ンターの再建が決まりました。
また、地域の伝統をどのように発信していくのか、住民の皆さんと話し合いを
始めています。

地域の歴史や伝統文化を活かしながら、環境未来都市としての新しい街づくりに
地域住民の考えや思いが反映されるよう、これからも住民の皆さんの活動を
支えていきたいと思ひます。



宮戸島縄文文化歴史資料館



近代港整備の野蒜築港跡の煉瓦積み

【復興まちづくり推進員ブログ】

<http://hmms0311fm.da-te.jp/>

以上

JICAは、宮城県、東松島市、宮城大学、東松島まちづくり応援団（NPO）等と共同で「地域復興推進員」を通じた震災復興モデル事業を東松島市で開始しました。このモデル事業では、早期震災復興につながる”市民協働のまちづくり”を支援することを目指しています。ここで得られた教訓や経験を将来の国際協力に繋ぎます。
